

石山合戦を読み直す

—軍記で読み解く日本史

歴史

えんや きくみ
塩谷菊美著

▼46判・並製カバー・272頁・定価「二、二〇〇円



信長と死闘を繰り広げた「一向一揆」や「石山合戦」は、後世に創作された虚像なのか?
治者目線で書かれた「軍記」という「物語」の作者の主張を丁寧に腑分けすることにより、そこに隠された意図を読み解き、物言えぬ者たちの実像をあぶりだす。

2021年12月刊行

【目次】

- はじめに——「石山」呼称問題
- 第一章 軍記の治者目線
- 第二章 同時代の軍記に描かれた「本願寺」と「一揆」
(二五五〇～一六〇〇年ごろ)
- 第三章 『甫庵信長記』と元和・寛永期の軍記
(一六一〇～一六六〇年ごろ)
- 第四章 寛文・延宝期の読み物的軍記
(一六六〇～一六九〇年ごろ)
- 第五章 元禄期の軍記と宗門書の交錯
(一六九〇～一七二〇年ごろ)
- 第六章 法座の文芸
(一七二〇～一七七〇年ごろ)
- 第七章 「庶民の石山」の系譜
(一七七〇～一八八〇年ごろ)
- 第八章 明治十年代の爆発的流行
(一八七〇～一九〇〇年ごろ)
- 第九章 「知識人の大坂」
(一七八〇～一八五〇年ごろ)
- 第十章 近代の知識人たち
(一八八〇～一九一〇年ごろ)
- 第十一章 「石山合戦」の「常識」化
(一九一〇～一九二〇年ごろ)
- 第十二章 「石山合戦」という術語
使用テキスト・参考文献／あとがき

◆著者略歴

一九五七年、神奈川県に生まれる。一九七九年、早稲田大学第二文学部日本文学科卒業、神奈川県立高校教育職(国語科)。一九九七年、和光大学人文文学部文学科専攻科修了。二〇〇三年、早稲田大学にて学位取得。博士(文学)。現在、神奈川県立高校非常勤講師・同朋大学仏教文化研究所客員所員。
編著：『真宗寺院由緒と親鸞伝』『語られた親鸞』『大系真宗史料 伝記編1 親鸞伝』『大系真宗史料 伝記編2 御伝鈔注釈』『大系真宗史料 伝記編3 近世親鸞伝(共著)ほか。』

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
塩谷菊美著	
法藏館	
定価二、二〇〇円	
住所	
塩谷菊美著	
石山合戦を読み直す	
軍記で読み解く日本史	
ISBN:978-4-8318-6268-6 C1021	
お名前	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp